

令和元年度 全国学力・学習状況調査（6年）の結果と今後の取組について

全国の小学校6年生を対象にした全国学力・学習状況調査が4月18日に実施され、結果が公表されました。本校の調査結果と分析、今後の取組についてお知らせします。

平均正答率を見てみると、概して、算数科においては全国・県平均を少し上回り、国語科においてはほぼ全国・県平均並みの結果が出ています。また、学力の定着度に大きな個人差があるということも分かりました。個々の結果を個別指導に生かしていくとともに、分析を基にして6年生をはじめ全学級の今後の指導・授業改善をしていきます。



【全国学力・学習状況調査の結果】

【単位-%】



	算数	(考え方)	(技能)	(知識・理解)	国語	(話す・聞く能力)	(書く能力)	(読む能力)	(言語能力)
八重東小	70	68.4	72.4	68.4	63	75.4	49.1	93.0	45.3
広島県	68	63.7	74.5	70.7	66	74.8	59.3	83.5	54.6
全国	66.6	62.2	73.6	70.1	63.8	72.3	54.5	81.7	53.5

【学力調査の結果分析（課題）と今後の取組】

《算 数》

◎ 概ね学力は定着しているが、「数量や図形についての技能」「数学的な考え方」について、課題がある結果となっている。

⇒ 正答率が低かった問題は、「加法と乗法の混合した整数と小数の計算」「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する問題」などであった。

これらの課題を改善していくために、児童が「どうして?」「なぜ?」と感じる授業の導入を行い、個々の児童の主体性を引き出す。そして、一人でじっくり考える場を設けて自分の考えを持たせるとともに、図や式、言葉等を関連付けながら、グループや学級全体で話し合う活動を取り入れる。また、自力解決時や集団解決時、振り返り時に、問題の解き方についてノートに書き込む時間を設け、自分の考えを筋道立てて分かりやすくまとめるための指導を徹底する。これらの指導を繰り返すことによって、「数量や図形についての技能」「数学的な考え方」を伸ばしていく。

《国 語》

◎ ほぼ概ね学力は定着しているが、「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」について、課題がある結果となっている。

⇒ 特に正答率が低かった問題は、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く問題」「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題」などであった。

これらの課題を改善していくために、「はじめ・中・終わり」や「起承転結」などの文章構成を意識しながら自分の考えを書く活動を機会あるごとに取り入れられたり、熟語の意味調べや例文作りに重きを置いた漢字指導を徹底したりする。これらの指導を繰り返すことによって、「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」を伸ばしていく。

《学習・生活アンケート》

「生活と学習，教科の学習に関する調査」等が行われた。国や県の平均を上回るものや下回るものとして，次のことが挙げられる。

生活に関わっては、「自分には，よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことはありますか」「学級みんなで話し合っ
て決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「読書は好きですか」「日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか」等を中心に，8割以上の項目で国や県の平均を大きく上回っていた。

国や県の平均を少し下回っていた項目は，「毎日，同じくらいの時刻に起きていますか」「地域や社会をよくするために，何をすべきかを考えることがありますか」の2項目のみであった。

教科の学習に関わっては，「国語・算数の勉強は好きですか」「国語・算数の勉強は好きですか」「国語・算数の授業の内容はよく分かりますか」等を中心に，ほぼ全ての項目で国や県の平均を上回っていた。その中において，「国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」という項目については，国や県の平均と同等であった。

～今後の取組（全学級で！）～

- ◆学習に興味関心をもたせ意欲を持って教科学習ができるように，授業の導入（意欲の喚起）・終末（学びの広がり・深まり－自主学習・家庭学習と連動）の工夫，課題発見・解決学習，話し合い活動等を工夫するとともに，個に応じた指導の工夫・充実を図る。
- ◆学力定着のために，1時間の授業でつけたい力（思考力・判断力・表現力）を明確にした授業づくりを組織的に行う。学校で学んだことが生活で活用できるように，指導方法も工夫していく。
- ◆基本的な生活習慣の確立のために，「三点固定（生活がんばりカード）」の取組の趣旨を，より保護者に理解していただき，家庭での指導の充実を図るとともに，地域の課題に気付き解決することにも言及したふるさと学習の内容を充実させる。